ノートルダム清心女子大学
地域連携センター実績報告書

[2017（平成29）年度]

ノートルダム清心女子大学
地域連携センター

目　　次

センター長ご挨拶 …… 1

Ⅰ　地域連携センターの概要 …… 2

1．設立の趣旨 …… 2

2．概　　要 …… 2

3．組　　織 …… 2

4．ノートルダム清心女子大学地域連携センター規則…… 3

Ⅱ　実績報告 …… 4

1．地域との連携協力の締結 …… 4

2．連携協力締結後の実績 …… 4

1）早島町との実績 …… 4

2）こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）との実績 …… 5

3）和気町との実績 …… 5

4）その他の実績 …… 7

①岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」 …… 7

②岡山市「平成 29 年度大学生まちづくりチャレンジ事業」 …… 8

Ⅲ　資　　料 …… 9

1．早島町との包括的連携協力 …… 9

2．和気町との包括的連携協力 …… 11

3．その他 …… 13

1）岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」 …… 13

2）岡山市「平成 29 年度大学生まちづくりチャレンジ事業」 …… 15

センター長ご挨拶

地域連携センター長　小林　修典

地域連携センターの設立の目的は、その規則に記されているように、地域貢献活動を行うことにあります。

設立以来、岡山市教育委員会、早島町、山陽新聞社、こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ)、和気町と包括的連携協定を結ぶなど、地域との様々な連携協力に取り組んできました。

2017年度も、こうした地域との連携協力を継続しました。早島町や和気町への学生ボランティアでは、学生は、日頃の学びをふりかえり、社会に貢献できることの喜びを体験し、さらなる成長をとげています。

この他に、新しいとりくみとして、地域連携センターを窓口にして、岡山市立京山公民館での「夏休み子どもフリー塾」や岡山市政策局政策企画課の「大学生まちづくりチャレンジ事業」に学生たちが参加しました。特に後者では、「ツボジョーワールド探検隊」に日本語日本文学科の学生が、また「西大寺情報発信チーム」に英語英文学科、人間生活学科、児童学科の学生が参加するなど、全学的に地域社会との交流が行われました。

このように、地域連携センターを介した地域との連携協力は順調に進行しています。このような連携協力がさらに活発となり、地域と本学との協力関係が多方面へと進展することを願っています。

Ⅰ．地域連携センターの概要

1．設立の趣旨

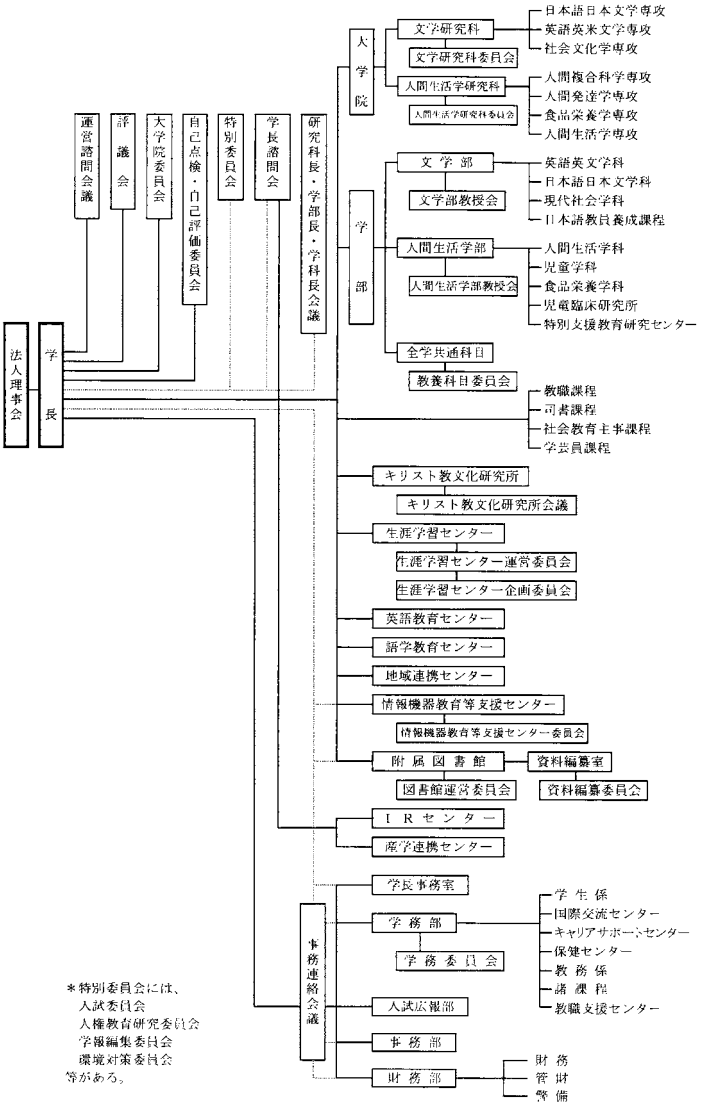
地域連携センターは、本学の建学の精神に基づき、地域貢献を主たる目的とし、地方自治体、産業界、ＮＰＯ法人等と連携し、地域文化の発展、教育・学術研究及び人材の育成を図り産学連携、地域活性化のためのシンクタンク機能などの様々な地域貢献活動を総合的に行うとともに、社会人の学び直し、生涯学習講座の活性化に資することを目的としている。

2．概　　要

名　　称：ノートルダム清心女子大学地域連携センター
開 設 日：2014 年 4 月 1 日
スタッフ：地域連携センター長　　小林　修典
　　地域連携センター客員教授　　木山　博雅
　　地域連携センター兼任教授　　豊田　尚吾
　　地域連携センター事務職員　　樋口　京子

3．組　　織

組　　織：ノートルダム清心女子大学運営組織（2017（平成 29）年 4 月 1 日現在）



４．ノートルダム清心女子大学地域連携センター規則

（目的）
第１条　この規則は、ノートルダム清心女子大学学則第５条の４に基づき、ノートルダム清心女子大学地域連携センター（以下「センター」という。）の設置及び運営に関し、必要な事項を定める。
（設置）
第２条　ノートルダム清心女子大学（以下「本学」という。）に、センターを置く。
２　センターの英語名を NDSU Community Center とする。
（設置の目的）
第３条　センターは、本学の建学の精神に基づき、地域貢献を主たる目的とし、地方自治体、産業界、NPO 法人等と連携し、地域文化の発展、教育・学術研究及び人材の育成を図り、産学連携、地域活性化のためのシンクタンク機能などの様々な地域貢献を総合的に行うとともに、社会人の学び直し、生涯学習講座の活性化に資することを目的とする。
（事業）
第４条　センターは、前条の目的を実現するため、次の各号の事業を行う。
一　地域文化の発展、教育・学術研究及び人材の育成
二　産官学連携のための支援活動
三　生涯学習センターとの連携に関する情報提供
四　その他、前条の目的を実現するために必要な事業
（構成）
第５条　センターは、次の委員でもって構成する。
一　学長
二　副学長
三　大学院研究科長
四　学部長
五　学科長
六　学務部長
七　地域連携センター長（以下「センター長」という。）
八　その他、学長が必要と認めた者
（センター長）
第６条　センターに、センター長を置く。
２　センター長は、本学学長が委嘱する。
３　センター長は、センターを代表し、これを統括する。
（センター会議）
第７条　センターに、地域連携センター会議（以下「会議」という。）を置く。
２　会議については、別に定める。
（事務）
第８条　センターの事務は、生涯学習センター事務室において行う。
（経費）
第９条　センターに係る諸経費は本学の予算から支弁する。
（その他）
第 10 条　この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し、必要な事項は別に定める。
（改正）
第 11 条　この規則の改正は、評議会の承認を得なければならない。

附　則
この規則は、2014 年４月１日から施行する。
附　則
この規則は、2015 年 10 月 28 日から施行する。
附　則
この規則は、2016 年４月１日から施行する。
附　則
この規則は、2017 年４月１日から施行する。

Ⅱ　実績報告

１．地域との連携協力の締結

・2014（平成 26）年 6 月 1 日
　ノートルダム清心女子大学と岡山市教育委員会との連携協力に関する協定を締結
・2014（平成 26）年 8 月 8 日
　早島町とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
・2014（平成 26）年 8 月 25 日
　株式会社山陽新聞社とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
・2014（平成 26）年 8 月 25 日
　こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
・2016（平成 28）年 5 月 12 日
　和気町とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結

２．連携協力締結後の実績

１）早島町との実績

年　月　日	内　容
2017(平成29)年4月24日	早島町教育委員会から土曜はやしま塾に学生ボランティアの派遣依頼
2017(平成29)年6月17日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を2名派遣
2017(平成29)年6月24日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を2名派遣
2017(平成29)年7月15日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を2名派遣
2017(平成29)年8月7日	早島町景観審議会委員に人間生活学部人間生活学科の上田恭嗣教授が委嘱される。 委嘱期間:2017年10月1日～2019年9月30日
2017(平成29)年10月21日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を2名派遣
2017(平成29)年11月11日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を3名派遣
2018(平成30)年2月10日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科3年生を1名派遣
2018(平成30)年2月17日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科3年生を1名派遣
2018(平成30)年2月24日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科3年生を2名派遣
2018(平成30)年3月3日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科3年生を1名派遣
2018(平成30)年3月10日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科2年生を3名派遣
2018(平成30)年3月17日 (9：00 ～ 10：30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を1名派遣

2）こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）との実績

年　月　日	内　容
2017(平成29)年6月11日 (10：00 ～ 14：00) (2200JB、ヨゼフホールラウンジ)	第 14 期（2017 年度）こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）「国際塾入塾式」及び「国際塾第 1 回講座」を本学にて開催 開催日時：2017 年 6 月 11 日（日）　10：00 ～ 14：00 開催場所：ヨゼフホール B 棟 2 F 2200JB、1 F ヨゼフホールラウンジ
2017(平成29)年10月22日 (10：00 ～ 16：30) (2200JB、ヨゼフホールラウンジ)	「国際塾第 9 回講座」及び「高校生グローバルゼミ 2017」を本学にて開催 開催日時：2017 年 10 月 22 日（日）　10：00 ～ 16：30 開催場所：ヨゼフホール B 棟 2 F 2200JB、1 F ヨゼフホールラウンジ

3）和気町との実績

年　月　日	内　容
2016(平成28)年5月18日	「和気町まち・ひと・しごと創生有識者会議」委員に文学部現代社会学科の二階堂裕子准教授が委嘱される。 委嘱期間：2016 年 5 月 18 日～ 2018 年 3 月 31 日
2017(平成29)年4月1日	和気町から公営塾スタッフ（中学生の英語学習補助）の学生ボランティア講師の派遣依頼
2017(平成29)年4月8日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科 4 年生を 1 名派遣
2017(平成29)年5月8日	「和気町出店支援補助金等審査委員会委員」に文学部現代社会学科の二階堂裕子准教授が委嘱される。 委嘱期間：2017 年 5 月 12 日～ 2018 年 3 月 31 日
2017(平成29)年5月13日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科 4 年生を 1 名派遣
2017(平成29)年5月17日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生1名、英語英文学科 3 年生 1 名を派遣
2017(平成29)年5月27日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科 3 年生を 1 名派遣
2017(平成29)年6月3日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科 3 年生を 1 名派遣
2017(平成29)年6月7日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科 3 年生を 1 名派遣
2017(平成29)年6月10日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科 3 年生を 1 名派遣

2017(平成29)年6月17日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生1名、英語英文学科３年生１名を派遣
2017(平成29)年6月24日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年7月8日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年7月15日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を２名派遣
2017(平成29)年8月5日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年8月19日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年9月2日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年9月9日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年9月20日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年10月21日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を３名派遣
2017(平成29)年10月28日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を２名派遣
2017(平成29)年11月4日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年11月11日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2017(平成29)年11月25日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を２名派遣

2017(平成29)年12月9日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を２名派遣
2017(平成29)年12月16日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科３年生を１名派遣
2018(平成30)年1月13日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生1名、英語英文学科３年生１名を派遣
2018(平成30)年1月20日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科４年生を１名派遣
2018(平成30)年1月27日 (13：00 ～ 16：00) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科４年生を１名派遣

４）その他の実績（①岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」）

年　月　日	内　容
2017(平成29)年5月29日	岡山市立京山公民館・NPO 法人岡山市子どもセンター主催 『夏休み子どもフリー塾　お菓子を作ろう』ボランティアスタッフおよび講師派遣の依頼 活動内容：お菓子作りを通じて小学生と大学生がコミュニケーションをとることで異世代間の交流のきっかけとなるよう期待。お菓子作りから協調性やお菓子を作り上げる達成感の高いひと時となることを目指す。 主　　催：岡山市立京山公民館 NPO 法人岡山市子どもセンター 後　　援：岡山市
2017(平成29)年8月18日 (10：00 ～ 11：00) (京山公民館)	『夏休みフリー塾　お菓子を作ろう』企画の事前打合と準備 活動内容：本番に向けての事前実習 出 席 者：本学食品栄養学科准教授　小山洋子 岡山市立京山公民館　蔵坪杏依 NPO 法人岡山市子どもセンター　三宅啓子 本学食品栄養学科学生ボランティア　６名 打合内容：お菓子を作ろうタイムスケジュール お菓子の内容分量等について
2017(平成29)年8月29日 (10：00 ～ 12：30) (京山公民館)	『夏休みフリー塾　お菓子を作ろう！』開催 出 席 者：本学食品栄養学科准教授　小山洋子 岡山市立京山公民館　蔵坪杏依 NPO 法人岡山市子どもセンター　三宅啓子 本学食品栄養学科学生ボランティア　６名 参加人数：小学生 13 名

4）その他の実績（②岡山市「平成 29 年度大学生まちづくりチャレンジ事業」）

年　月　日	内　容
2017(平成29)年3月14日	岡山市政策局政策企画課から募集案内あり。学内に通知。 募集期間：2017 年 4 月 5 日～ 2017 年 5 月 31 日 対象となる団体（グループ）：岡山市内の大学、大学院及び短期大学の教職員を代表とした参加学生 3 名以上で構成されている団体（グループ） 対象となる活動：岡山市内における地域課題の解決や地域活性化を目的として、行政機関、企業、NPO 及び住民自治組織等との協働により実施される活動を対象とする。 ただし、政治活動、宗教活動、営利等を目的とするもの、他の補助制度の対象となっている活動等は除く。 補助金額：補助限度額 30 万円
2017(平成29)年5月25日	岡山市政策局政策企画課に応募書類提出。 ①ツボジョーワールド探検隊（代表：文学部教授　山根知子） 学生：文学部日本日本文学科 3 年生　9 名 ②西大寺情報発信チーム（代表：人間生活学部教授　豊田尚吾） 学生：文学部英語英文学科 2 年生 1 名 人間生活学部人間生活学科 1 年生 1 名 人間生活学部児童学科 4 年生 1 名
2017(平成29)年6月29日	岡山市政策局政策企画課から「大学生まちづくりチャレンジ事業」について、市内 7 大学 12 事業の申請があり本学においては申請した 2 事業が採択された。 活動期間：2017 年 7 月～ 2018 年 1 月末日
2018(平成30)年2月15日 (13：30 ～ 16：00) (ほっとプラザ大供)	「大学生まちづくりチャレンジ事業」活動報告会 開催日時：2018 年 2 月 15 日（木）　13：30 ～ 16：00 開催場所：ほっとプラザ大供（岡山市北区大供 2-3-16） 参加人数：130 名 次　　第 （第 1 部：一般公開） 1　開会 2　岡山市長挨拶 3 「大学生まちづくりチャレンジ事業」活動報告 4　表彰式 5　閉会 （第 2 部：大学生・大学関係者のみ） 6　大学生トーク「次のチャレンジどうしていく？」

Ⅲ　資　　料

１．早島町との包括的連携協力

土曜はやしま塾ボランティアに参加して

人間生活学部　児童学科１年　杉本　佑喜子

このボランティアに参加したきっかけは友人からの誘いでした。そのため初めは、自身のとった科目の単位のために行かなければならないという、半ば義務のような気持ちでいました。しかし何度も足を運ぶ中で、１年生の間にこのボランティアに参加していて良かったと思いました。

児童学科では保育教育基礎実習という科目を履修します。この科目では附属の小学校や幼稚園へ自ら行き、学校の先生方の補助をするボランティア活動を行います。私は小学校へボランティア活動に行っていましたが、先生方の補助といっても、自らが子どもたちに勉強を教えることはほとんどありませんでした。そのような中で参加した土曜はやしま塾のボランティアでは、子どもたちが解けない、分からない部分を自らの言葉で教えることをしました。教え方などはまだ勉強していないため、自分の説明で理解してもらえるのか不安はありましたが、理解してくれる子が多くて嬉しかったです。

附属小学校のボランティア活動では得ることのできない人間関係や経験を培えるのが、土曜はやしま塾のような学外での活動だと思います。来年度も引き続き土曜はやしま塾のボランティアに参加し、この一年を通して見つけた課題点・反省点を良い方向へ繋ぎ、自身の経験を高めていきたいと思います。

土曜はやしま塾ボランティアに参加して

人間生活学部　児童学科１年　竹田　奈月

早島塾の学習支援ボランティアに参加し、小学生から中学生の子どもたちと一緒に学ぶことができた。私は、大学のボランティアの掲示板で早島塾の存在を知った。地元でのことであり、私が小学生・中学生の頃にはなかったものでもあったので、どんな感じなのか興味がわき参加することにした。

今回の早島塾では、それぞれが持ってきた学校の宿題や夏休みの宿題をしたり、ｉプリという塾が用意した学習プリントをしたりした。ここには全員が勉強をしに来ているから、家よりも勉強に対する意識が高まると感じた。早島塾に来ている生徒は小学生から中学生と年齢の幅も広く、取り組んでいる学習範囲も全く違った。小学１年生には足し算や引き算を教える一方で、中学生には文字式や証明を教えた。教える相手によって教え方も異なり、それぞれに分かりやすく教えるにはどうしたらいいのかと考える良い機会になった。その中で、生徒全員が素直に言うことを聞いてくれるわけではなく、おしゃべりや遊ぶばかりで学習になかなか取り組めない生徒もいた。そんな生徒とはまず信頼関係を築くようにした。挨拶や、学校のことなど日常の何気ない話を重ねるうちに少しずつ私の話を聞いてくれるようになり、勉強しようという声かけに応じてくれるようになった。私が同じ早島出身であったため、学校行事のことなど私の時のことを交えながら話すと興味津々といった表情で聞いてくれた。また、自分の学校生活のことも詳しく話してくれた。熱心な生徒と比べるとまだまだかもしれないが、その心情の変化が私はとても嬉しかった。

早島塾は、生徒の実力に応じた学習道具を用意したり、少人数制のクラスで基本をしっかり教えたりと様々な取り組みをしている。また学習支援だけでなく、生徒とのコミュニケーションの取り方も学ぶことができる。これからもぜひ参加したいと思う。

2. 和気町との包括的連携協力

和気町公営塾ボランティア参加活動報告

文学部　英語英文学科４年　岡　雅子

≪５級～３級指導補助≫

１階で３級、４級、５級に分かれても問題集やプリントを解いている中学生が困っていたら補助をしながら進めていくという形でした。人数は多かったと思います。ちなみにこの頃はまだ小学生クラスがなく中学生だけでした。小学生クラスは10月ごろに始まったと思います。カリキュラムは主に地域おこし協力隊の方々が立ててくださっていたと思います。

≪英検準２級指導補助と和気町教育推進連絡協議会への参加≫

協力隊の方々が準２級のカリキュラムやプリントを用意し、中学生に教えていました。SVや節と句などの基礎的な内容から始まり、長文読解トレーニング、毎回の単語テストなど、少人数で手厚く行っていました。また和気町教育推進連絡協議会では、和気町職員や協力隊の方々、外部専門家の方々、公営塾の大学生が参加し、これまでの公営塾について、またこれからの取り組み、課題点や改善点などを討論し合いました。

≪グローバルタイム（英検合格体験談）≫

協力隊の方々や大学生が中学生にPowerPointを使って英語だけでなく世界の文化、留学など、さまざまなトピックについてプレゼンテーションを行いました。毎週土曜日の公営塾のなかで時間をとって行っていました。中学生は真剣に関心をもって聞いてくれていたと思います。私は英検準１級についてプレゼンを行いました。

≪クリスマスパーティー（小学生クラス）≫

小学生クラスでクリスマスゲームをしたり、サンタクロースがプレゼントを配ったりして楽しく過ごしました。私はサンタクロースに関するプレゼンテーションを行いました。子供たちはとても楽しそうにお菓子を食べ、プレゼンを聞いていました。

≪英検３級教材作成＆指導＆小学生の英会話補助＆スタッフ向けのワークショップ≫

英検３級の主担当として教材を作成し、全般的な指導をしました。生徒は３人くらいでした。また､オンライン英会話をする小学生の補助をしました。また外部講師の先生をお呼びし、公営塾スタッフ向けのワークショップを行いました。

≪小学生クラスのメイン講師役で授業≫

大学生と協力隊の方々と交代で小学生クラスにメイン講師として授業を行いました。また、2017年度から水曜日の開講と公営塾kidsが始まり、12月からは佐伯地区での公営塾が開塾しました。

≪和気塾PR活動と広島県大島上島町の公営塾とのイベント（in　岡山大学教育学部）≫

大学生向けPR活動を行い、また広島県大島上島町の公営塾とイベントを開催しました。

〈和気町公営塾でのボランティアの様子〉

３．その他

１）岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」

夏休み子どもフリー塾ボランティアに参加して

人間生活学部　食品栄養学科２年　梶原　あん菜

私自身、子供達を対象としたボランティア活動に参加することは初めてでしたが、とても貴重な体験をすることができました。

今回参加したフリー塾のテーマである「お菓子を作ろう」の「お菓子」はドーナツとフルーツポンチの２種類にすぐ決まりました。しかし、“アレルギーのある子供でも食べられるお菓子作り”ということも考慮したため、ドーナツ一つ作るのも簡単なことではありませんでした。アレルギーのことに焦点を当てすぎると、食感や見た目が悪くなり、子供達の嗜好に合わなくなります。そのため、材料の見直しや配分を変えるなど、アレルギーがある子供にも美味しく食べてもらえるように様々な工夫をしました。そして何度か試作を行い、自分達の納得がいくドーナツを作ることができました。試作を通して、“アレルギーへの考慮”と“おいしさ”との両方を満たすようなレシピを考え、実際に作ることの大変さを学びました。

そして、フリー塾本番では、子供達の食に対する関心の高さに驚きました。作る前に、並べられている各材料が何なのか質問してみると、多くの子供達がすぐに答えを言ってくれました。さらに子供達から､「この材料を前に使ったことがある。」や「お母さんの料理の手伝いでいつも使っている。」といった発言を聞き、材料の名前を知っているだけではなく、実際には頻繁に料理をしている子供達が多いことが分かりました。私は、参加していた子供達はまだ小学生なので、料理の経験は少ないと勝手に思い込んでいました。子供達は慣れた手つきで積極的に作業に取り組んでいて、とても感心しました。他にも、やり方が分からない子に優しくやり方を教えてあげていたり、材料を混ぜているボウルをお互いに押えてあげたりと、子供達の間で協力し合っている姿が多く見られ、感心しました。

また今回は、子供達が中心となって、できるだけ多くの作業を子供達自身で行ってもらいたい、という気持ちでメニューを考えました。具体的には調理作業の中に、“粉を混ぜ合わせる”や、“団子をこねる”、“ドーナツにデコレーションをする”、“盛り付けを自分でする”といった、子供達が楽しめそうな要素を取り入れました。これらに対する子供達の反応はとても良く、工夫して良かったと感じました。

調理を終えて、子供達はそれぞれ自分の好みにデコレーションしたり盛り付けたりしたものを食べました。盛り付ける際には、「苦手な果物も１切れなら。」と自分から手を伸ばし、食べている子どももいました。皆、おいしそうに勢いよく食べていて、自分で盛り付けた分をほとんどきれいに完食していました。

このボランティアを通して、既に完成された状態で料理が出されるよりも、最後の盛り付けだけでも自分でするといった、何かしらのアクションを行うことは大切だと気付きました。今回、子供達がたくさん食べてくれたのも、苦手なものに挑戦できたのも、“自分で作った”というアクションのおかげだと思います。そのため、このような活動は続けていくべきだと感じ、それと同時に、またこのような機会があれば参加したいと思いました。そして最後に､この夏休みフリー塾のお菓子作りが､子供達にとって、何かに挑戦するきっかけや、協調性を養う機会になってくれればいいな、と強く感じました。

お菓子を作ろう！ タイムスケジュール

8月29日(火) 10:00～12:30　2階　料理講座室

公民館事前準備物：①カメラ（カメラで当日の様子を何枚か記録に残しておく）　②鉛筆
③水
④参加費集金用BOX
子どもセンター事前準備物：❶ごみを入れるナイロン袋　❷名札
※グループは学年がバラバラで仲良し同士かたまらないように
※子どもセンターがグループ編成を行う

9:15　スタッフ 集合＋設営
【受付準備】 参加費を受け取り次第、名札を胸に貼付し、グループの座ってもらう
□ 参加小学生用の名札(テープ)
□ 名札記入用のマジック
□ 参加費 500円 集金用BOX
□ 参加児童名簿 ＋ 鉛筆

9:50　受付完了

10:00　ボランティアスタッフ 自己紹介・本日の流れを説明
↓
【お菓子を作ろう！】スタート
・卵・小麦粉不使用！ "おから＆豆腐でドーナツ"
・スイカに盛り付け！ "寒天フルーツポンチ"

12:00　片付け

12:20　感想用紙の記入
・ボランティアスタッフ用と小学生用それぞれの用紙を配布 ※鉛筆用意

12:30　解散のあいさつ
参加児童が帰り次第、ボランティアスタッフと小学生の感想用紙を共有
ジュース（ 事前に公民館の冷蔵庫で ジュース 氷 保管 ）を飲みながら本日の振り返り

〈慣れた手つきでドーナツの生地を流し込んでいる〉

〈おいしそうに完成したお菓子〉

３．その他
２）岡山市「平成 29 年度大学生まちづくりチャレンジ事業」

ツボジョーワールド探検隊

ツボジョーワールド探検隊
文学部 日本語日本文学科３年　岸　智代

私たち日本語日本文学科３年生の有志９名は、「ツボジョーワールド探検隊」を結成し、岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」として、岡山市が生んだ小説家・児童文学作家の坪田譲治を軸とした地域おこし事業に取り組みました（ツボジョーとは坪田譲治の愛称として広まりつつある名称です)。私たちは、譲治文学には岡山を舞台とした人と自然が織りなす心豊かな世界が生み出されており、そうした世界の魅力を通して岡山の地域に深い興味がもてるのだと認識したことで、譲治ゆかりの地で人と地域をつなぎ、まちを活性化する目的をもって活動しました。

活動内容としては、譲治が幼少期に味わった岡山での体験を心の支えとして岡山を作品に描いたという情報を、より親しみ深く知ってもらいたいと思い、坪田譲治紹介冊子やテーマソングを作りました。さらにそれらを披露する５回にわたる場を設定し、譲治ゆかりの地（島田地域と御津地域）を中心に、小中高校生および一般を対象として、トークショーや朗読などを通して譲治を紹介する会を学校や地域の団体と連携して行い、ゆかりの地を巡るスタンプラリーも実施しました。

以上の活動によって、私たちは 20 団体という多くの団体と協働することができ、現場での人々との交流ができたことによって、岡山の人と自然に深く出会えた充実感を味わうことができました。

今回の活動で、私たち自身も譲治が心を寄せた岡山の魅力を現地で再発見することができました。さらにこれらの活動から参加者の声や報道での反響として関心の輪が広がったことは大きな達成感となりました。譲治文学という知的財産をこれからも後世に広めることは、譲治の愛した岡山の文化向上に繋がるに違いないと思い、さらに広い意味でも、文学を通して地域とつながることは、その地域に力強い精神性を育むものだという深い意義を感じています。

〈「ツボジョーワールド探検隊」による坪田譲治紹介冊子〉

「ツボジョーワールド探検隊」活動報告

■　協働した〈２０〉の団体・施設・店舗等

① 「文学と岡山」製作委員会
② 岡山市立石井小学校
③ 石井学区連合町内会
④ ツボジョー先生の宝さがし実行委員会
⑤ 坪田譲治子どもの館
⑥ 岡山県立岡山御津高等学校
⑦ 子育て西活性化推進協議会
⑧ 天満町内会
⑨ 岡山市地域おこし協力隊
⑩ 御津地域活動家早川浩美
⑪ 岡山県後楽園事務所
⑫ 岡山県立図書館　総務・メディア課
⑬ 岡山市文化振興課（岡山市文学賞）
⑭ 岡山シティーミュージアム
⑮ 金福菓子舗
⑯ ONSAYACOFFEE　奉還町店
⑰ コーヒー＆ピザ　O-TO-YA
⑱ HATTORI　BAGEL
⑲ 岡山後楽園　福田茶屋
⑳ ペリカンパスタ

月	日	活動内容	場所	内容
6	5	「ツボジョーワールド探検隊」結成	ノートルダム清心女子大学	
	20	全体ミーティング	ノートルダム清心女子大学	・今後の活動に向けた話し合い
7	1	テーマソング完成	ノートルダム清心女子大学	・テーマソング『謙治のおかやま』完成
	8	フィールドワーク スタンプラリーの設置依頼 スタンプラリーの企画	御津地域 岡山シティ・ミュージアム ONSAYA　COFFEE HATTORI　BAGLE	・冊子作成に向けた写真撮影や協力願い ・「ツボジョースタンプラリー」のスタンプ台設置、クーポン依頼
	15	キックオフミーティング フィールドワーク	西川アゴラ 島田地域	・冊子作成に向けた写真撮影など
	16	フィールドワーク	坪田譲治ゆかりの各所	・冊子作成に向けた写真撮影など
	22	スタンプラリーの企画 スタンプラリーの設置依頼	岡山シティ・ミュージアム 岡山県立図書館 金福菓子舗 後楽園　福田茶屋 ペリカンパスタ O-TO-YA	・「ツボジョースタンプラリー」の企画書作成 ・「ツボジョースタンプラリー」のスタンプ台設置、クーポン依頼
	25	スタンプラリーの設置依頼	岡山県立図書館	・「ツボジョースタンプラリー」のスタンプ台設置依頼
	27	フィールドワーク	島田地域	・冊子作成に向けた写真撮影や協力願い

月	日	活動内容	場所	内容
	27	冊子納品	ノートルダム清心女子大学	・冊子「ツボジョーワールドへようこそ―発見！　岡山の魅力―」が完成
	31	イベント参加に向けてすり合わせ	石井小学校	・石井小学校で開催される『つぼじょー先生の宝さがし』に関しての打ち合わせ
8	7	冊子内の漫画完成	ノートルダム清心女子大学	・坪田譲治に関する冊子内に掲載した坪田譲治の祥歴を描いた漫画が完成
	10	テーマソングの練習	ノートルダム清心女子大学	・テーマソング『謙治のおかやま』の収録に向けた練習
	23	テーマソングの収録 スタンプラリー企画	ノートルダム清心女子大学	・テーマソング『謙治のおかやま』の収録 ・「ツボジョースタンプラリー」のスタンプ作成 ・「ツボジョースタンプラリー」告知チラシ完成
	25	冊子発行	ノートルダム清心女子大学	・坪田譲治に関する冊子「ツボジョーワールドへようこそ―発見！　岡山の魅力　」が発行
	27	岡山市立石井小学校にてイベント	石井小学校	・石井小学校で開催された『つぼじょー先生の宝さがし』に参加し、児童に冊子を配布、『謙治のおかやま』を初披露（資料２、記事⑫⑬）
9	8	スタンプラリー景品作成	ノートルダム清心女子大学	・「ツボジョースタンプラリー」のしおりの絵柄作成
	13	スタンプラリー景品完成	ノートルダム清心女子大学	・「ツボジョースタンプラリー」の景品、しおり・ブックカバー作成
	20	スタンプラリーの台紙完成	ノートルダム清心女子大学	・「ツボジョースタンプラリー」の台紙の作成
	27	スタンプラリー台、台紙、冊子の配置	岡山シティミュージアム	・「ツボジョースタンプラリー」のスタンプ台設置
	28	スタンプラリー台紙、冊子の配置	金福菓子舗 ONSAYA　COFFEE	・「ツボジョースタンプラリー」のスタンプ台設置

月	日	活動内容	場所	内容
	30	スタンプラリー台、台紙、冊子の配置	後楽園 岡山県立図書館	・「ツボジョースタンプラリー」のスタンプ台設置
10	1	「ツボジョースタンプラリー」開始	岡山市内各地	・（資料２、記事⑳）
	3	河原塚　お月見会　練習	ノートルダム清心女子大学	・御津　河原塚で行われる、お月見会の練習
	5	河原塚　お月見会　練習 河原塚　お月見会　打ち合わせ・調整	ノートルダム清心女子大学 御津　河原塚	・御津　河原塚で行われる、お月見会の練習 ・御津　河原塚で行われる、お月見会の打ち合わせ・調整
	6	スタンプラリー	岡山県立図書館 後楽園 御津　河原塚	・「ツボジョースタンプラリー」の台紙補充
	7	イベント参加		・坪田譲治に関する説明とトークショー、朗読
	27	大学祭に向けた準備	ノートルダム清心女子大学	
	29	大学祭 「ツボジョースタンプラリー」終了	ノートルダム清心女子大学	・スタンプラリーの景品配布、朗読
11	16	岡山県立岡山御津高等学校生徒訪問	ノートルダム清心女子大学	・御津高校の生徒に坪田譲治について説明、朗読（資料２、記事㉓）
12	7	活動報告に向けた練習	ノートルダム清心女子大学	・朗読「竹」練習
	15	活動報告に向けたリハーサル	ノートルダム清心女子大学	・岡山市市民の童話賞の打ち合わせ・調整
	16	岡山市市民の童話賞での活動報告	ノートルダム清心女子大学	・岡山市市民の童話賞にてテーマソング披露、成果発表、「竹」朗読（資料２、記事㉔）

「ツボジョーワールド探検隊」活動掲載記事

坪田譲治の世界知ろう

岡山 出身小学校で紹介イベント

地元大学生ら 冊子作成 歌も披露

▲掲載記事②　2017 年 8 月 28 日 讀賣新聞

坪田譲治ゆかりの地巡ろう

▲ 掲載記事③　2017 年 9 月 29 日 山陽新聞

街を歩いて毎日が観光

かっぱとドンコツの用水路（岡山市北区島田本町）

▲ 掲載記事④　2017 年 12 月 1 日 毎日新聞

坪田譲治で地域活性化

▲掲載記事①　2017 年 8 月 29 日　山陽新聞

坪田譲治 偉大な先輩

御津高生が学習

▲ 掲載記事⑤　2017 年 11 月 17 日 山陽新聞

学生が描くマチ

…岡山の取り組み

① 郷土の文学発信（ノートルダム清心女子大）

坪田譲治の功績に光

市民 童話賞表彰式

▲ 掲載記事⑥　2018 年 1 月 26 日 山陽新聞朝刊

西大寺情報発信チーム

西大寺情報発信チーム
人間生活学部 児童学科　　4年　上野　裕菜
文学部 英語英文学科　　2年　奥山　華世
人間生活学部 人間生活学科1年　溝口惠利加

私達は、西大寺地域、特に五福通り周辺の情報発信を目的としてマップ作成・配布活動に取り組みました。西大寺地区といえば、毎年二月に開催される「会陽裸祭り」で全国的に知られていますが、五福通りを始めとした西大寺が独自に持つその他の魅力は、十分に発信されていません。そこで今回、私たちならではの観点で西大寺の新たな魅力を発掘し、若い世代や女性が訪れたくなるようなPRを行うことを目標としました。

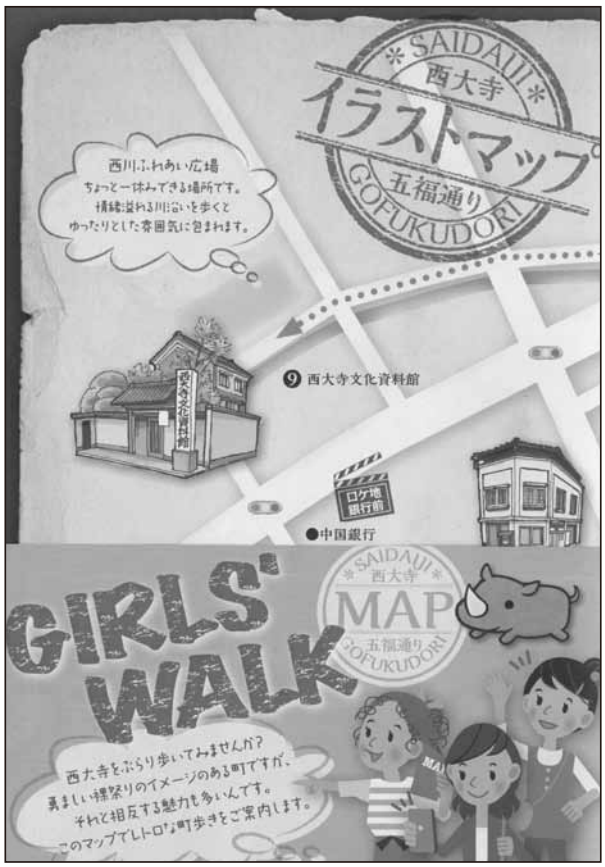
これまでの主な活動は、過去にPRに使われたコンテンツやウェブを通しての下調べ、二度の現地訪問とインタビュー、情報の整理、マップ作成、という流れで取り組んできました。特にインタビューでは、地元の人々が抱える思いや、今後の西大寺に望んでいることを知る貴重な機会を得ることが出来ました。これによって、地元の人々の思いに寄り添ったPRを行うことも、メンバーの中で共通の認識になりました。

今後は、作成したマップの配布と活用方法の検討を活動の中心とし、メンバー一同、西大寺の新たな魅力の発信に最後まで取り組んでいきたいと考えています。

＜チーム代表人間生活学科教授　豊田尚吾追記＞

本活動で作成したマップは現在、西大寺駅、五福通り店舗、岡山商工会議所西大寺支所、岡山市観光センター（ももたろう観光センター）にて配布しています。2017年12月19日には西大寺五福通り「五福座」にて地元の皆さんに活動内容について説明するプレゼンテーションを行いました。2018年2月18日には「大学生まちづくりチャレンジ事業」事業報告会（於:ほっとプラザ大供）で発表を行い、一応の区切りをつけました。

メンバーはこの活動を通じ大学生の立場ではなかなか出会うことのできない「地域を支える人たち」と交流できたこと、地域の課題を自分の目でみて深く考える機会を得たこと、実際に手足を動かして実践的な取り組みを行ったこと、学科学年の枠を超えて協同したことなど、様々なことを学んでくれました。これらの経験は彼女らの自信にもつながり今後の学びやキャリアにもよい影響を与えてくれるものと期待しています。



〈「西大寺情報発信チーム」による西大寺五福通りイラストマップ〉

学生が描くマチ

……岡山の取り組み

⑥ 門前町を活性化（ノートルダム清心女子大）

女性の視点で魅力紹介

西大寺会陽の舞台・西大寺観音院（岡山市東区西大寺中）の門前町として栄えた西大寺地区。昭和初期の風情が残る五福通りなど、一帯の魅力を紹介したのが「西大寺五福通りイラストマップ」だ。

A3判の表面には周辺の地図とともに、町歩きの推奨ルートを表示。沿線でピックアップした9施設は、名所以外にカフェや和菓子店なども組み込み、「西大寺名物『笹の葉せんべい』を販売する駄菓子屋さん」「たっぷりのクリームが特徴のワッフルを販売するお店」といった説明文と写真を載せている。

手掛けたのは、ノートルダム清心女子大（北区伊福町）の学生3人。同地区は祭りに代表される勇壮なイメージを持たれがちだが、「相反する魅力も多い」と、女子大生から見た西大寺の再発見をコンセプトに、若い女性が食べ歩きも楽しめる内容にした。

▲「西大寺五福通りイラストマップ」の内容を確認する学生たち

メンバーは、地域活性化などを学ぶ講義の受講生。岡山、卒業した高校や父親の出身地など西大寺に縁があってマップを企画した。

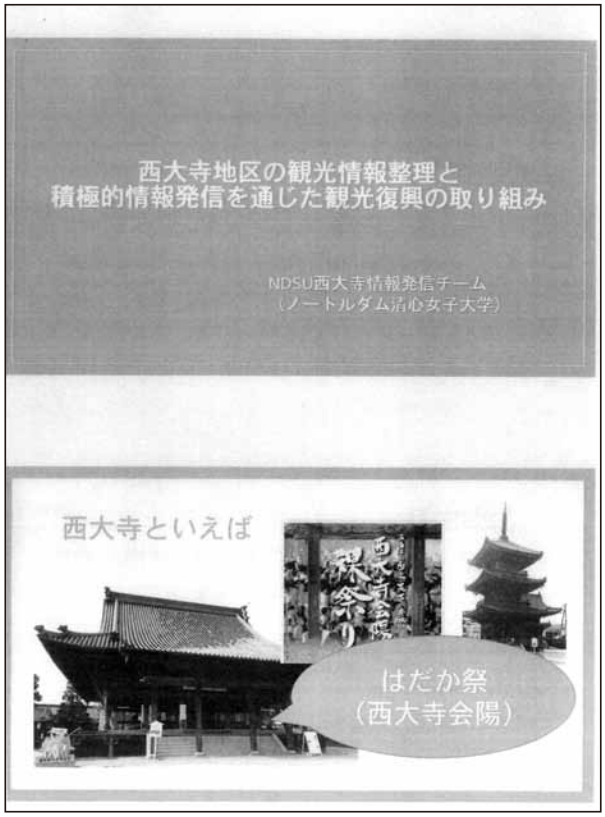
講義や休日を利用して昨年5月から現地に出向き、構成を検討。「かわいらしさを感じてもらおう」と、イラストを多用してカラフルに仕上げ、町を歩いた感想も載せた。裏面は、同地区でロケがあった映画やドラマの一覧（7作品）や、レトロな建物（看板建築）の解説を添えている。

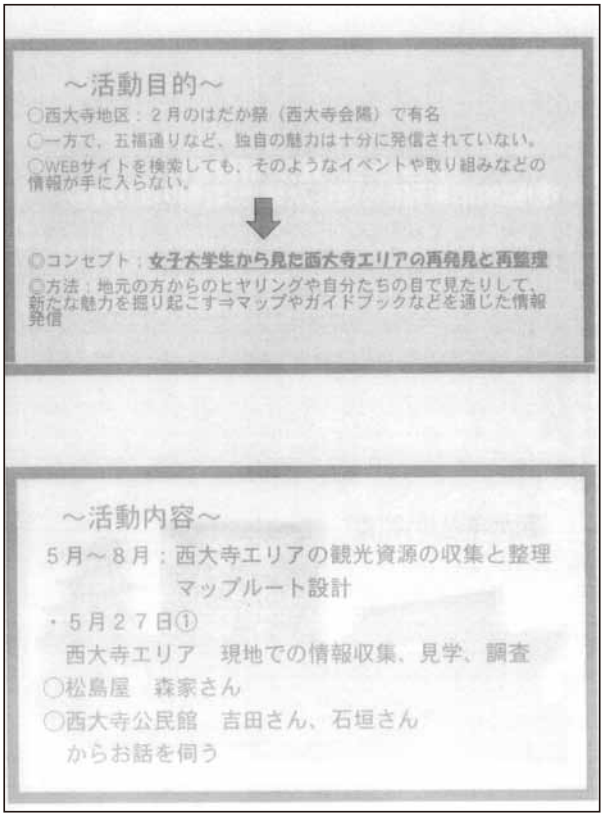
2500部作り、市東区役所（岡西大寺南）などで配っている。女性の視点で作ったマップは初めてで「地域のイメージアップにつながる」と岡山商工会議所西大寺支所の吉田陽一支所長（56）。

発案した文学部2年奥山華世さん（20）は「地域の人が気軽に話し掛けてくれる温かい町。ゆったりとした時間を過ごしてほしい」と呼び掛ける。

（小野拓香）

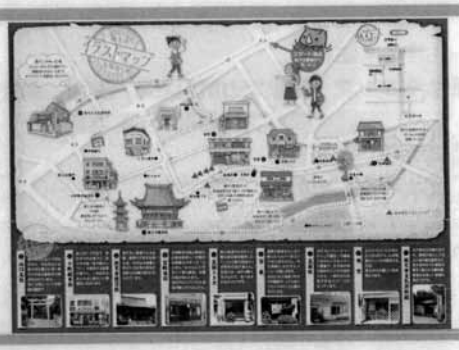
2018 年 2 月 2 日 山陽新聞朝刊





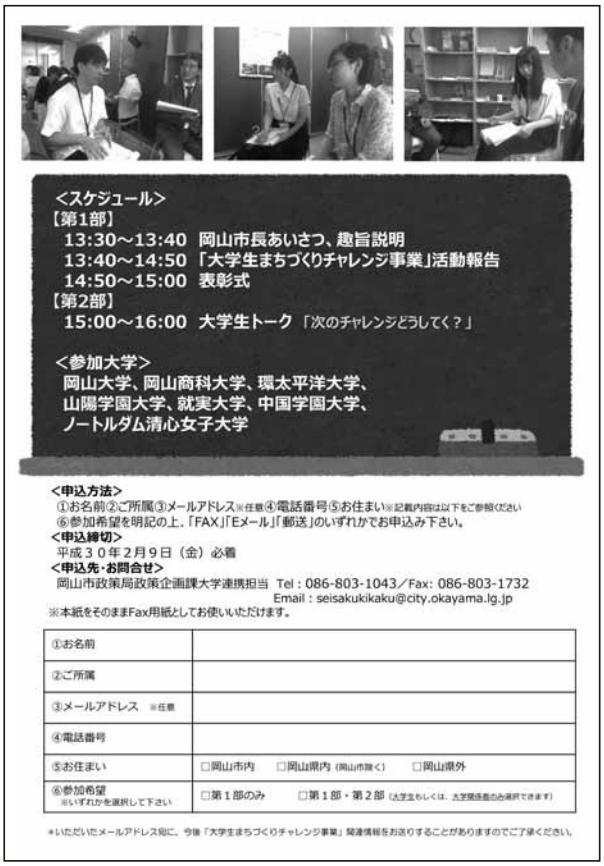
・８月２４日②
西大寺エリア　現地での情報収集、見学、調査
　　マップに使用する写真撮影
○松島屋　森家さん
○西大寺商工会議所　吉田さん
○西大寺観音院　坪井さん
からお話を伺う

９月：マップ作成
１０月～１１月：情報発信方法の検討
　　継続的運用方法の検討
１２月：マップ配布（西大寺駅、観光センター）
　　五福座での活動報告
　　→マップ紹介・質疑応答



今後の課題
・大学でのマップ配布
・ＷＥＢでの情報発信
・運用方法の検討

「平成 29 年度大学生まちづくりチャレンジ事業」活動報告会



〈活動報告会 チラシ〉

〈ツボジョーワールド探検隊〉

〈西大寺情報発信チーム〉

地域連携センター実績報告書［2017（平成29）年度］

2018年3月発行

編集・発行　ノートルダム清心女子大学　地域連携センター
〒700－8516　岡山県岡山市北区伊福町二丁目16番９号
TEL 086－252－7045
FAX 086－252－7044

印　　刷　有限会社　ダイニ印刷
〒700－0961　岡山県岡山市北区北長瀬本町13番26号